

# 様式見本

特許  
印紙

(注意：特許印紙です。  
収入印紙では認められません)

(14,000 円)

【書類名】 特許願

【整理番号】

(【提出日】 令和 年 月 日)

【あて先】 特許庁長官 殿

(【国際特許分類】)

【発明者】

【住所又は居所】

【氏名】

【特許出願人】

(【識別番号】)

【住所又は居所】

【氏名又は名称】

(【代表者】)

(【国籍・地域】)

(【電話番号】)

【提出物件の目録】

【物件名】 特許請求の範囲 1

【物件名】 明細書 1

(【物件名】 図面 1)

【物件名】 要約書 1

法人の場合は、【代表者】の欄を  
設けて、代表者氏名を記載します。  
個人の場合は、【代表者】欄は削  
除します。

【書類名】 特許請求の範囲

【請求項 1】

ここから書き始めます。

【請求項 2】

ここから書き始めます。

- 注. (1) 特許を受けようとする発明を特定するために必要な事項のすべてを記載した項（請求項）に区分して記載して下さい。
- (2) 請求項ごとに行を改め、番号を付して下さい。（請求項の数が 1 の場合でも、「【請求項 1】」と記載して下さい。
- また、2 以上の場合は、「【請求項 1】」、「【請求項 2】」のように連続番号を付して下さい。）

【書類名】 明細書

【発明の名称】（発明の内容を簡単に表したものを記載して下さい。）

【技術分野】（注）見出しの横には何も記載しないで下さい。

【0001】（注）段落番号の横には何も記載しないで下さい。

ここから書き始めます。

（【背景技術】）

【0002】

（【先行技術文献】）

（【特許文献】）

【0003】

（【特許文献1】）

（【特許文献2】）

（【非特許文献】）

【0004】

（【非特許文献1】）

（【非特許文献2】）

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【・・・】

【課題を解決するための手段】

【・・・】

（【発明の効果】）

【・・・】

（【図面の簡単な説明】）

【・・・】

（【図1】）

（【発明を実施するための形態】）

【・・・】

（【実施例】）

【・・・】

（【産業上の利用可能性】）

【・・・】

（【符号の説明】）

【・・・】

（【受託番号】）

【・・・】

（【配列表フリーテキスト】）

（【配列表】）

【書類名】 図面

【図 1】

(図)

【図 2】

(図)

【書類名】 要約書

【要約】（ここには何も記載しないで下さい。）

【課題】ここから発明の課題を簡潔に記載して下さい。

【解決手段】ここから発明の解決手段を簡潔に記載して下さい。

【選択図】ここに図の番号のみを記載して下さい。

図を描く必要はありません。